

【緑地の樹】

ネムノキ(合歡木)

プロフィール: マメ科の落葉高木

花広場の入口入ってすぐ左側に生えています。

春、里山の木々が芽吹いて淡い緑色のもやがかかったように感じる時があります。虫も動き出して、生命の躍動が感じられるのです。ところがそんな中、全然芽吹かない木が。「この木、枯れちゃったのかなあ」と残念に思っていると、他の木々の緑が深くなった5月末にやっと目を覚まして芽吹きだす、それが寝坊助ネムノキです。それでネムノキというのかと思っていたのですが、そうではなく夜になると葉が閉じて眠ることからの名前だとか。



梢の上の方にポツポツと、夢が今開きましたというように淡いピンクの花が咲いています。落ちていた花を見ると、何本ものピンク色の糸（雄しべ）が束になっているようです。顔を近づけると、ふくよかな香り。この色と香りで、落ちていたのを見つけると拾わずにはいられません。本の間に挟んで、本に香り移るといいなあ〜と。（小川）

手に取ると、絹糸の束のような花